

議案第 1 8 9 号

さいたま市さくら草学園条例の一部を改正する条例の制定について
さいたま市さくら草学園条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和 7 年 1 1 月 2 6 日提出

さいたま市長 清 水 勇 人

さいたま市さくら草学園条例の一部を改正する条例

さいたま市さくら草学園条例（平成 1 3 年さいたま市条例第 1 6 5 号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太線の表示部分（以下、改正前の欄にあつては「改正部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正部分のみ存在するときは、当該改正部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(設置)</p> <p>第 1 条 児童福祉法（昭和 2 2 年法律第 1 6 4 号。以下「法」という。）第 4 3 条に規定する児童発達支援センターとして、さくら草学園（以下「学園」という。）をさいたま市浦和区<u>駒場 1 丁目 2 8 番 1 0 号</u>に設置する。</p> <p>(業務)</p> <p>第 2 条 学園は、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 障害児に係る次に掲げる相談支援（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 1 7 年法律第 1 2 3 号）<u>第 5 条第 1 9 項</u>に規定する相談支援をいう。次条第 3 項において同じ。）に關すること。</p> <p>ア・イ [略]</p> <p>(4) [略]</p> <p>(利用者の資格)</p> <p>第 3 条 [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>3 相談支援を利用できる者は、障害児の保護者であつて、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<u>第 5 条第 2 0 項</u>に規定する</p>	<p>(設置)</p> <p>第 1 条 児童福祉法（昭和 2 2 年法律第 1 6 4 号。以下「法」という。）第 4 3 条に規定する児童発達支援センターとして、さくら草学園（以下「学園」という。）をさいたま市浦和区<u>領家 1 丁目 5 番 1 6 号</u>に設置する。</p> <p>(業務)</p> <p>第 2 条 学園は、次に掲げる業務を行う。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 障害児に係る次に掲げる相談支援（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 1 7 年法律第 1 2 3 号）<u>第 5 条第 1 8 項</u>に規定する相談支援をいう。次条第 3 項において同じ。）に關すること。</p> <p>ア・イ [略]</p> <p>(4) [略]</p> <p>(利用者の資格)</p> <p>第 3 条 [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>3 相談支援を利用できる者は、障害児の保護者であつて、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律<u>第 5 条第 1 9 項</u>に規定する</p>

主務省令で定める便宜を受けようとするもの又は同法第51条の17第1項に規定する計画相談支援対象障害者等に該当するものとする。

主務省令で定める便宜を受けようとするもの又は同法第51条の17第1項に規定する計画相談支援対象障害者等に該当するものとする。

附 則

この条例は、令和8年4月1日から施行する。ただし、第2条及び第3条の規定は、公布の日から施行する。